

平成30年度第1回

長洲町

総合教育会議記録

平成30年度第1回長洲町総合教育会議

○日 時

平成30年6月27日(水) 午後2時00分～午後3時30分

○場 所

長洲町役場3階大会議室

○出席者(5名)

町 長	中 逸 博 光	教 育 長	戸 越 政 幸
教 育 委 員	坂 本 裕 文	教 育 委 員	田 中 伏 美
教 育 委 員	徳 田 美 津 子		

○欠席者(1名)

教 育 委 員 隈 部 壽 明

○事務局(14名)

副 町 長	平 川 一 喜	総 務 課 長	濱 村 満 成
学 校 教 育 課 長	松 林 智 之	生 涯 学 習 課 長	藤 井 司
学 校 教 育 課 長 補 佐	福 永 道 尚	学 校 教 育 課 長 補 佐	金 森 秀 益
生 涯 学 習 課 長 補 佐	荒 木 功	総 務 課 防 犯 係 担 当	川 島 武
子 育 て 支 援 課 長	山 本 明 子	子 育 て 支 援 課 長 補 佐	中 山 健 一
ま ち づ くり 課 長	田 成 修 一	福 祉 保 健 介 護 課 長	宮 本 孝 規
総 務 課 総 務 係 担 当	五 十 嵐 史 紘	総 務 課 総 務 係 担 当	甲 田 結 香

○関係者(6名)

長洲中学校長	中 山 直 幸	腹 栄 中 学 校 長	松 永 光 親
長洲小学校長	甲 斐 裕 一	清 里 小 学 校 長	大 川 隆 嗣
腹 赤 小 学 校 長	福 田 賢 一	六 栄 小 学 校 長	城 祐 治

○アドバイザー(6名)

長洲町PTA連合会会長	村 島 佳 行	長洲町駐在員会会長	玉ノ木 龍 兒
地域見守り隊	城 戸 邦 晴	長洲町老人会連合会会長	高 松 一 馬
長洲町消防団長	福 田 敏 史	荒尾警察署生活安全課長	竹 口 公 之

議事次第

- 1 開会
- 2 主催者挨拶
- 3 協議・調整事項
学校・地域・行政における見守り・不審者等への対策について
- 4 その他
平成30年度第2回長洲町総合教育会議について

【司会（杉浦総務課長補佐）】 ただいまより平成30年度第1回長洲町総合教育会議を開会いたします。

それではまず、開会に当たりまして、主催者であります中逸博光長洲町長よりご挨拶を申し上げます。

【中逸町長】 皆さん、こんにちは。特に今日は大変お忙しい中、平成30年度第1回総合教育会議にご出席を賜り、ありがとうございます。

長洲町総合教育会議は、毎年、年4回開催いたします。これは町長が主催するものでございます。教育委員会主催と違って、さまざまな観点からのご意見をお聞きし、協議する会議でございます。今回初めて出席される方もいらっしゃるかと思いますけれども、このように真面目に毎年4回ずつ開催しています。もし以前のことを知られたいなら、私のところのホームページから入って、総合教育会議の議事録を見ていただければ、いろいろなことをここで言うております。そういう意味で、どうぞ好き勝手に言ってください。そういう場でございます。

今日の総合教育会議では、子供や高齢者の見守り、そして不審者対応の協議をお願いしたいと考えております。新学期に入りまして、声かけ事案や高齢者の徘徊が発生いたしましたが、地域の皆様のご協力もあり、幸いなことに大事には至っておりませんでした。しかしながら、このような事例に関しましては、全国的にも頻発しており、凶悪化する可能性も十分に考えられます。町といたしましては、学校、保護者、地域各団体、そして行政が連携を行い、チーム長洲としてこのような事件を未然に防ぎ、子供たちや高齢者を守り抜けるように協力関係を深めていく必要があると考えております。

本日は、アドバイザーとして、PTA連合会の村島様、老人会連合会会長の高松様、駐在員会会長の玉ノ木様、消防団団長の福田様、地域見守り隊の城戸様、そして荒尾警察署生活安全課長の竹口様においでいただいております。

最後になりましたが、皆様のご健勝を祈念申し上げまして、挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願い申し上げます。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 続きまして、今回の開会に当たりまして、新たに就任されました教育長のご紹介をさせていただきます。戸越政幸教育長でございます。

【戸越教育長】 改めましてこんにちは。4月1日、辞令は4月2日に町長からいただきました。約3カ月になろうとしますが、今日の議案は、今、学校が抱えている、当面する喫緊の課題でもあると思います。どうか皆様方のお知恵と、これから実践につな

がるご意見を聞かせていただければなと思っております。それを生かしてまいりたいと思
いますので、どうぞよろしくお願いいたします。お世話になります。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 それでは、今回ご出席いただいておりますアドバイザー
の皆様のご紹介をさせていただきます。

老人会連合会会長の高松一馬様です。

【高松長洲町老人会連合会会長】 よろしくお祈いします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 P T A連合会会長の村島佳行様です。

【村島長洲町P T A連合会会長】 よろしくお祈いします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 六栄小校区で見守りをしていただいております城戸邦晴
様です。

【城戸地域見守り隊隊員】 よろしくお祈いします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 駐在員会会長の玉ノ木龍兒様です。

【玉ノ木長洲町駐在員会会長】 よろしくお祈いします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 町消防団団長の福田敏史様です。

【福田長洲町消防団長】 お祈いします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 荒尾警察署生活安全課課長の竹口公之様です。

【竹口荒尾警察署生活安全課長】 よろしくお祈いします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 アドバイザーの皆様、本日は、よろしくお祈いいたしま
す

また、今回も町内の小中学校の校長先生にも出席をいただいております。

今年度から長洲に新たに赴任された校長先生をご紹介いたします。

清里小学校の大川校長です。

【大川清里小学校校長】 よろしくお祈いします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 長洲中学校の中山校長です。

【中山長洲中学校校長】 よろしくお祈いします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 校長先生方、よろしくお祈いいたします。

また、4月から副町長も新たに就任しております。ご紹介させていただきます。

平川一喜副町長です。

【事務局（平川副町長）】 よろしくお祈いします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 職員につきましても4月の人事異動がっておりますの

で、紹介をさせていただきます。

総務課長の濱村課長です。

【事務局（濱村総務課長）】 よろしくお願いいたします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 福祉保健介護課長の宮本課長です。

【事務局（宮本福祉保健介護課長）】 宮本です。よろしくお願ひします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 学校教育課長の松林課長です。

【事務局（松林学校教育課長）】 松林です。よろしくお願ひします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 生涯学習課長の藤井課長です。

【事務局（藤井生涯学習課長）】 藤井と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 本日、教育委員であります隈部委員につきましては、所用のため欠席をされておられます。

また、今回、出席いただいている方が多くなってございますので、マイクの都合上、順次マイクを回していただくようお願いしたいと思います。

それでは早速ですが、本日の次第3にございます協議調整事項となります。長洲町総合教育会議運営規約第2条におきまして町長が議長となることになっておりますので、これからは町長に議事の進行をお願いいたします。

《 3 協議・調整事項 》

【議長（中逸町長）】 皆様、改めましてよろしくお願ひいたします。

本日は、子供や高齢者の見守り、不審者への対応について、現状と対策、取り組みなどをお聞かせいただき、今後の安全安心な長洲町をつくるための対策について、意見交換をさせていただきたいと考えております。

それではまず、長洲町役場の総務課からよろしくお願ひいたします。

【事務局（濱村総務課長）】 総務課の濱村です。よろしくお願ひします。

それでは、総務課から、まず、不審者の発生状況と防犯への取り組み状況についてご説明いたします。

まず、町内におけます児童を対象としました不審者の発生状況でありますけれども、平成29年は4件、平成30年は6月11日現在で7件発生しております。

平成29年の4件の内訳としましては、声かけ事案はありませんで、4件ともつきまと

い事案となっております。大字宮野で3件、長洲駅の構内で1件、発生しております。

被害に遭った児童生徒につきましては、小学生女児が2名、小学生男児が1名、中学女生徒が1名です。発生時期は3月中旬から7月上旬となっております。

次に、平成30年、今年ですけれども、6月11日現在の7件につきましては、全てが声かけ事案となっております。長洲小学校区で4件、六栄小学校区が2件、腹赤小学校区が1件という状況です。

被害に遭った児童生徒等につきましては、幼稚園児が2名、小学生女児が3名、小学生男児が1名、中学生女生徒が1名です。こちらの発生時期は3月下旬からということで、直近の声かけ事案の発生は5月31日の朝夕に発生しています。

また、高齢者の見守りという点では、行方不明者の保護事案としまして、平成29年につきましては6件、平成30年は6月11日現在で2件という状況になっておりまして、今お伝えしました件数等につきましては、不審者情報及び高齢者保護情報につきましては荒尾警察署からの情報提供に基づく資料となっております。

次に、これらの不審者や行方不明者に関する取り組みとしまして、総務課の所管では、大別して四つの事業を行っております。一つは防犯灯の整備事業、二つ目は青色回転灯パトロールカーによるパトロールの実施、三つ目は防犯カメラの設置管理事業、四つ目としまして各防犯関係団体との連携を図るための協議会の開催となっております。

各事業についてご説明しますと、まず、防犯灯整備事業につきましては、大きく二つの内容がありまして、一つ目は防犯灯の補助金の交付事業です。通学路であったり、生活道路における暗いところを減らして防犯効果を高めるという目的で、区が新たに防犯灯を設置する場合は費用の2分の1を補助しております。また、既設の防犯灯で従来の蛍光灯の型からLEDへ交換する場合につきましては4分の3の補助を行っております。また、この補助のほかに、区と区の境などで民家が少なく、区による防犯灯設置整備が難しいところにつきましては、町のほうで整備を進めることとしております。

次に、青色回転灯のパトロールカーによるパトロール実施につきましては、週に2回、役場の職員が子供たちの下校の時間帯に合わせて、特に学校であったり、保育所、幼稚園の周辺を重点的にパトロールする見守りの活動と、また、これらのパトロールカーを使ってPTAやボランティア団体の方へ青色回転灯パトロールカーを貸し出す事業をやっております。それによって、また見守り活動を行ってもらっています。

貸し出しにつきましては、事前に警察署からの講習等を受講していただく必要があります。

して、防犯に関する知識をパトロールされる方々に身につけていただいています。

次に、防犯カメラにつきましては、昨年から始めた事業になりますけれども、町内の各所に設置した防犯カメラによって防犯の効果を高めるとともに、記録された画像によって行方不明者の捜索や犯罪発生時の情報提供に役立てることを目的としております。

資料を防犯カメラ設置図という形でお配りしておりますけれども、現在、36台の防犯カメラを設置しております。また、今後につきましても、町内で発生している事案等を踏まえまして増設を検討しています。

最後に、各防犯関係団体との連携を図るための協議会の開催ですけれども、長洲町犯罪のない安全安心まちづくり協議会としまして、荒尾警察署のほか、老人クラブ連合会やPTA連合会、婦人会など約20の団体から成る協議会を開催しまして、防犯体制についての連携を図っております。町内の犯罪情勢や交通事故情勢につきまして情報共有を行って、防犯行政についての意見交換を行っているところでございます。

以上で総務課からの説明を終わります。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

次に、福祉保健介護課から高齢者の見守りについて説明をお願いいたします。

【事務局（宮本福祉保健介護課長）】 続きまして、高齢者の方の見守り体制をご説明したいと思います。

高齢者の方の見守りについてですけれども、町といたしましては、地域による見守りと民間事業者様の協力を仰いだ形の見守り体制を進めているところです。

地域による見守り活動としましては、民生委員児童委員さんの活動の中での見守り。民生員さんが今37名いらっしゃいます。この方々がひとり暮らし高齢者を中心に声かけ等をされております。

それと、老人会連合会のシルバーヘルパーさんによる見守り活動、声かけ活動に129名の登録がございます。それと、地区社協における福祉協力員がいらっしゃいますが、この方が今現在480名の登録がございます。この方々につきましては、それぞれの立場で、活動できる範囲で見守り等を行っていただいています。

それと、今、町のほうで進めておりますのが民間事業者様のご協力による見守り体制ということで、今年の平成30年1月にユーマートクナガ様、3月に町内の郵便、電気、ガス、新聞配達業者様、それと町内にございます介護サービス事業者連絡協議会、合計16団体と高齢者の方の見守りに関する協定を結ばせていただいております。

それと、今日は教育関係の方に参加いただいておりますので、地域での見守りというところで、どうしても高齢者の見守りに関しては認知症の徘徊に対する支援が必要になっていきます。町のほうでも認知症サポーターの養成ということで、いろいろな団体等の方にサポーターの養成を担っていただいておりますが、平成29年度は腹赤小学校、六栄小学校、腹栄中学校の128名の児童生徒の方に受講していただいておりますし、今年度につきましても、長洲小学校、清里小学校、長洲中学校の児童生徒の皆さんに受講していただく予定となっております。

以上、高齢者に関しては、地域でどうやって見守っていくかと、長洲町独自の取り組みとしましては、事業者等、いろいろな活動の視点で拾い上げさせていただいているという現状です。

以上でございます。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

それでは、次に、教育委員会から説明をお願いいたします。

【事務局（松林学校教育課長）】 それでは、教育委員会からご説明申し上げます。

お手元にA3用紙を1枚お配りしております。そちらをごらんください。これは、現在、各学校における不審者の対策につきまして一覧にまとめたものでございます。各項目ございますが、まず、通学路の危険箇所の把握については、各学校とも年度の初めに教職員の先生、またPTAにより通学路の点検を行っているところです。また、あわせて地域から情報をいただいて、把握に努めているところでございます。

次に2番目、学校内の安全点検につきましては、これも各学校で毎月安全点検を実施されています。危険を伴う箇所につきましては、随時修繕を行い、安全の確保を図っているところでございます。

次に、子供や保護者等への周知でございますけれども、これは、全校集会や集団下校時、またPTAの総会といったところで情報の提供、また、各学校での安心安全メールによる保護者への周知によって注意喚起を行っているところでございます。

次に、不審者の予防対策でございますけれども、地域の見守り隊の方々による見守り活動、また集団下校時に児童生徒への指導、これは「いかのおすし」でございますが、あと不審者侵入を想定した避難訓練、また校内の定期的な巡回、さらには子供110番の家の協力の要請など、予防と対策に努めているところです。

次に、警察関係や地域等との連携につきましては、先ほど申しました地域の見守り隊の

方、また警察との情報の交換、学校における生徒指導連絡協議会での情報の共有などで連携を図っているところです。

最後になりますけれども、不審者の対応としましては、実際に不審者が発生した場合を想定しまして、まずは警察への連絡、そして保護者への情報の提供と見守り隊への協力要請、また、子供たちには、児童集会や各学級での指導により対応をしているところがございます。

教育委員会からは以上であります。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。今日は校長先生方も出席されておられます。校長先生、それぞれの立場でご意見、アドバイス、ご要望などがあつたら、お願いしたいと思います。よろしいでしょうか。・・・それでは、また最後にご意見を聞かせていただこうと思います。

それでは、今日はアドバイザーの方がお見えになっております。アドバイザーそれぞれのお立場で、ご意見、アドバイス、ご要望などがあつたら、おっしゃっていただければと思います。

老人会連合会会長の高松さんから、よろしく願いいたします。どうぞ、座ってで結構でございます。

【高松長洲町老人会連合会会長】 では、座って説明をさせていただきます。

今、長洲町老人クラブ連合会では、先般、5月末に長洲小学校周辺で声かけ事案が発生しましたことを教育長、先生のほうから聞きまして、早速6月1日の理事役員会の中で、もちろん荒尾警察、また腹赤交番、長洲駐在所と、夏休みまで朝の3時、6時、それと夕方の4時と7時、こういう形で荒尾警察、長洲、腹赤とパトカーで巡回されていますので、私たち老人会としましては、6月1日にこういう事案があつたということで、それぞれに見守り隊で今、立っておられます。

見守りに出ることができない人は、7時から7時半まで自宅前に花を植えたりとかいろいろされていますので、水をかけながらでも子供たちに声かけの推進をやってくれということで、それを継続しながら、今現在取り組んでいるところです。

それにつけ加えて、見守り隊の強化ということで、今現在、見守りをそれぞれでやっておられますけれども、この見守り隊の増員を老人会で何とかやっっていこうということで、それぞれの会長さんに声かけをしたところです。また、7月6日にはそういうことで、どういふ結果につながっていくかということを知りたいという思いは今現在持っているところ

ろです。

それから、私たち東荒神の老人会では、中道児童公園をグラウンドゴルフで使わせてもらっています。あの周辺もかなり植木が茂っていますので、道路から見た場合に、公園内がなかなか確認できないと。今、あそこを整備した関係で児童たちがかなり遊んでいます。そういうことで道路から死角になっていますので、今日、1メートルぐらいの下は全て剪定をさせてもらって、何とか子供たちが安心して過ごせるような公園づくりを行いました。長洲、清里、六栄、腹赤といろいろ公園があります。このところについても、今後、老人会のほうで、公園の中での死角になっている部分については剪定の協力をお願いしていきたいという思いを持っています。

今、核家族が多いのですが、子供たちとそういう触れ合う機会を得て、私たちの会員の方々も喜んでいろいろなことに取り組んでおります。お互いに相乗効果があるかと思いますので、今後もっともっと子供たちに携わりながら事業を展開していきたいという思いを持っていますので、今後ともよろしくお願いします。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

次に、PTAの村島さん、お願いいたします。

【村島長洲町PTA連合会会長】 PTA連合会のほうでは、5月に立て続けに起きた不審者の件を受けて、今までそれぞれの学校で見守り、防犯パトロールなどを行っていたのに加えて、今月と先月と青パト講習会があったんですけれども、今まで講習を受けていなかった学校も、各学校のPTA執行部の方だけでも受けようということで、2校、去年よりも多く青パトの講習を受けて、防犯パトロールを各学校で行うように動いています。

それと、要望というか、私たち六栄小学校では、毎日放課後に2人1組で通学路パトロールといって「防犯パトロール中六栄小学校PTA」と書いてある全面マグネットを自家用車に張ってパトロール活動を行っているんですけれども、そういうマグネットのものをたくさんつくって、執行部の車だけでも、そこら辺に買い物に行ったりとか、子供の送迎とかというときにでもつけて、常にパトロールをしていますというか、すぐ目につく、防犯意識を高めるといふか、犯罪意識を持った人たちが警戒するような取り組みをしています。長洲小学校では執行部と一般の保護者の方にもそれを配ろうということで学校と相談して、2枚1組の35セットか40セットぐらいを、学校のほうから8万の予算を取っていただいて、それをつくることになっています。それができる学校もあれば、その予算が取れない学校もあるので、防犯に関するものをつくる予算というのは、今年度は町の予算

がもう決められているので難しいかもしれないですが、そういった予算を防犯という面で……。一度つくってしまえば、それを毎年毎年使うので、新しく更新ということはほとんどないと思うので、来年度か今年度中にでも、できればそういった車につけるマグネットなどを各学校、執行部や協力いただける保護者の方々の車に日ごろから張ってパトロールできればなどと思っています。そういう案を今回この場でお話ししてきますと、ほかの会長さんたちに伝えてきたので、ご検討いただきたいなと思います。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。また、要望については、後でみんなで協議させていただきたいと思います。

次に、城戸区長さん、お願いいたします。

【城戸地域見守り隊隊員】 私、六栄の区長会の代表もやっております、1週間ほど前に、六栄の人全部集まって話をする機会がありました。そのときに、見守り隊をやっている区が六栄の中で六つぐらいありますので、不審者情報の話をしたわけです。そうしたら、長洲で1日に2回発生したという事例を知っている人は、私のほかには1人しかおらんかったです。その1人にどこから聞いたかと聞いたら、老人会長の高松さんが話された内容が伝わって聞いたということでしたので、意外とこれは正確に——見守り隊の隊長というのは区長がやっていることが多いんですけども、そちらに伝わっていないなということも感じたわけです。ですから、こういう話し合いがあるということを前提に幾つかの意見を聞きましたけれども、きちんと伝わるような体制を考えてもらいたいということでした。学校、保護者、それから地域あるいは行政、それぞれきちんとした連絡ルートがあると思うんですが、意外にそこら辺のあれが悪いなと思ったわけです。

どのくらいの方に伝わるのがいいだろうかという話をしましたら、スマホを持っている人は、13人の区長の中で3人だったんですよ。あとの人は、いわゆる古いガラケーと呼ばれる携帯電話。できんことはないんでしょうけれども、やはり伝わりが悪いなということを感じました。それで、ファクスがありがたいなという話でした。行方不明とか、そういったものが発生した場合には、ファクスで流したり、それから防災無線で放送されたりして伝わるケースもあります。防災無線が流れると、関係ある区は自分からいろいろな動きをするんでしょうけれども、電話もしくはファクス、そういった個別での連絡をきちんとしたほうがいいかなと考えました。

それから、見守り隊は高齢化でどんどん少なくなってきております。見守り隊を取りやめた区もここ二、三年で幾つかありまして、現在、六栄では六つだと思っています。その形も、

学校まで出迎えて区まで一緒に帰るといった形もありますし、区の入りで帰ってくるのを待つというふうに行っているところもあります。

私どもの区では、人通りの少ないところに立って、そういう犯罪の予防になればという観点で行っていましたが、そこを通る子供が少なくなった時点でやめたらどうかという声はかなり上がってきたんですよ。今、17名ぐらいで行っております。鷺巣の場合には老人会が中心で、月に1回、多くて2回程度で済むような、負担の少ない形で行おうということできずとやってきております。

ほかの区では三、四人だったり、七、八人だったり、その人たちが月に何度も出て、学校と区の間を往復するという、非常に負担の大きい活動をしているところもあります。これは、もともとがボランティアから始まっていて、内容はその区が選択することですのでいろいろですけども、要するに子供が少なくなって、ここを通る子のおらんもんねと、もうやめたらどうかという話だったんです。だけど、そのころに不審者情報が来ていましたので、こういうこともあるから、やっていて防犯に役立てば、それがより有効だろうと話をして続けているわけです。

そういったところで、不審者情報が的確に伝わると、そういうモチベーションの維持にもなりますし、有効な対策として必要だなと思っています。

それと、もう一つ、私が時々感じることで、先ほどの話でも中学校の事例がありましたけれども、中学生が帰るときに、道端で別れ際に長時間、30分も1時間も話をしている状況というのをたまに見ることがあります。これが女子生徒だったりすると、やはりちょっと不安になります。私は、鷺巣でそういうことを1回見かけたときに注意をしたんですけども、女の子はすぐに「はい」と言いましたけれども、男の子は不機嫌そうな反応を示していました。こういったものはどこかで注意すべきだろうと思いますけれども、学校側が今のそれに対してどういう認識を持っておられるのかなということを感じたわけです。聞かせていただけたらと思って発言いたしました。

以上です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。それは最後のほうでまたさせていただこうと思います。

玉ノ木会長、お願いします。

【玉ノ木長洲町駐在員会会長】 こんにちは。私は、少年警察ボランティアをやっています。少年警察ボランティアのほかのメンバーから、不審者が出没したとき連絡をしてほ

しいという要望がありました。私は5月31日だったですか、不審者の件を教育長からお聞きしまして、不審者が出没した地域の東荒神区の福島区長に見守り活動をお願いしに行きました。了解をいただき、ベストと交通安全の旗を渡して「明日からお願いします」と言って立っていただきました。それと、少年警察ボランティアで青パトの運行も、第3金曜日の午後3時から中央公民館に集合して、各小学校、中学校を巡回させていただいております。

以上です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

福田消防団長、お願いいたします。

【福田長洲町消防団団長】 消防団としては、従来の活動というか協力という形では、老人さん方の行方不明者の徘徊と捜索についてはいろいろと協力してきました。今年、5月15日だったと思いますけれども、小学校のほうから行方不明の子供がおられるということで、そちらの関係が今回初めてありまして、新しい対策を練っていかないといけないのかなと考えている次第です。

従来の老人の行方不明者と、今回の小学生の方の行方不明者に関して共通して言えることは、町民皆さんの情報を早く聞けば聞くほど、捜索範囲が大分狭くなってくると理解しています。先輩たちの話では、前、老人が徘徊したとき、植木町のほうでそういう方を見かけたということになって、消防団がみんなでいったということでした。それは情報が遅かったからそうなったんですが、広がってからになると、かなり範囲が広がって、それだけ難しいと感じます。

今回、一つ勉強になったのは、団員と小学校・中学校の保護者がわりとリンクしてまして、これは腹赤のほうの団員だったと思うんですけれども、今回の六栄小学校のときに、その方はPTAの方なんかと商売上のつき合いがあって、わりと早い段階でLINEのほうから情報をもらいました。

これは、個人情報とかの関係もあって、災害等のことを想像すると話が太くなるので難しいんですけれども、LINEというのは、案外関係者の中だけでつながりができるので、そういうのをどんどん活用していったらいいんじゃないかなと。前回の熊本地震のときもそうだったんですけれども、携帯はほとんどつながらなかったときに、LINEで団員に連絡したら、わりと通じたので、LINEの活用というのも今後いろいろ研究していかなければいけないなと思っております。

以上です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

それでは、荒尾警察署の竹口課長からこれまでの説明、ご意見などを踏まえて、お話や実践的なアドバイスなどを伺いたいと思います。大体10分以内でお願いできればと思います。

【竹口荒尾警察署生活安全課長】 こんにちは。荒尾警察署の竹口といいます。3月から勤務しております。よろしくお願いします。

長洲町については、皆さんの意識が高くて、警察としても仕事がしやすいというか、とても助かっております。日ごろから皆様にあつては、地域の安全や見守り活動をしていただいて、ほんとうにありがとうございます。警察としても、町長が先ほど言われましたとおり、チーム長洲の一員として頑張っていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

さて、治安の目安となります犯罪情勢、特に刑法犯認知件数というのがずっと減り続けておりました、平成14年ぐらいをピークにして、ずっと右肩下がりになっています。警察全体としてもそうなんですけれども、熊本県警、荒尾警察署管内もずっと減り続けておりました、昨年は年間で300件を切りまして、これはピーク時の4分の1以下という状況になっています。要するに、数字的なものなんですけれども、犯罪発生というのがずっと減り続けているというのが現状です。

昨年も300件弱ぐらいの刑法犯が発生しているんですけれども、その内訳は、荒尾市が約250件、長洲町にあつては40件ぐらいの数になっています。これについてもずっと減り続けている状態で、今年も既に半年過ぎておりますけれども、管内の刑法犯の発生状況というのはずっと同じ傾向で、今現在、まだ100件ちょっとぐらいの数で、この流れでいきますと、おそらく今年の年末では200件ちょっとぐらいで、おそらく戦後最少を更新するのではないのかなという見通しを持っています。

ただ、刑法犯が減り続けているので安全なのかというわけではありません。今、皆さんが思っているような治安の不安要因の一つとして、声かけ事案というのがあっております。

先般、熊本市内で警察官が現場で拳銃を発砲しているという事件があったのは、皆さんご存じと思うんですけれども、この東警察署のニュースが大きく取り上げられたものから、あまりニュースにならなかったんですけれども、同じ時期に、同じ熊本市内で、小

学生2人が連れ去られるという誘拐事件が実際あつとって、この東警察署の事件のときに逮捕されております。あまりニュースで大きく取り上げられなかったんですけども。

これについては、下校中の小学生が車に乗せられて連れ去られたという事件で、新潟のあの事件とほぼ一緒です。事件の詳細については、私も把握していない部分があるんですけども、どうも車内で泣き出したものですから、被疑者のほうが車からおろして解放したという事案で、ほんとうに一歩間違えれば、新潟の事件と同じような状況になつたんじゃないかなという感じです。

このような事案は都心部も地方も全く関係なく発生するし、荒尾、長洲でもいつ起こつてもおかしくないような状況ではあります。荒尾警察署管内、荒尾と長洲でのこういう声かけ事案というのは、年間一桁から30件ぐらいの届け出がずっとあつています。今年は、こういうご時世で、届け出が多いという感じになっておりまして、今現在、管内で12歳程度の子供以下の年少者に対する声かけも10件ちょっとぐらいあつておりまして、これについては、昨年に比べるとちょっと増えているような状況になっています。

先ほどから話が出ております長洲小学校付近であつている声かけ事案については、先日、対象者を特定して話を聞いて、警告を実施しています。個人情報の関係で詳細についてはお話しすることはできませんが、今の段階では、大きい事案に発展するような危険性はないと判断しているところでございます。

インターネットや携帯電話の普及とかで情報が氾濫しているような現在では、考えられないような事件とかが突然発生するというのは、今後とも続いていくんじゃないかなと思つております。昨日も富山のほうでありましたけれども、いつ自分のところに危険が降りかかってくるかというのは、皆さん、頭のどこかに置いてもらつたほうがいいんじゃないかなと思います。

ただ、一言言わせてもらいたいのは、危険だ、危ないと思ひ過ぎるのも、また別の問題になりますので、疑心暗鬼というか、地域のつながりをなくすような方向ではなくて、地域全体でみんな子供を守っていく、地域全体で子供を育てるという方向に持っていけばいい方向に向かうのではないかなと思います。

声かけ事案の届け出の全部が全部悪い内容ではないと思ひます。近所の子供とか通りがかりの子に「こんにちは」と言ったのを、子供が家に帰つて、今日、知らないおじちゃんに声かけられたというのが不審者情報になつたケースも中には多分あると思ひます。かといつて、油断するというわけではないんですけども、今後も地域全体で大人が子供を見

守って育てていくという気持ちが大変なのではないかなと思います。

大変なのは、前兆事案を見逃さないでほしいということです。例えば見知らぬ車を見たとか、見知らぬ人を見たとか、道端で子供が泣いているとか、あまり見たことがないような人に通りがかりの子供が声をかけられているとか、車に乗せられているとか、何か違和感があるなというときに、そこで無関心で終わるのか、危機感を持って捉えるのかというのが境目だと思います。

無関心が一番いけないんじゃないかなと思います。私たちが新潟の事件とかを踏まえまして、夕方の下校時間帯について、警察としてパトロール活動を今している最中でございます。地域の皆様と一緒に私たちが子供を守っていく、地域の治安を守ると思っておりますので、今後ともご協力をお願いします。

特に、6月も終わりました、来月は夏休みに入ります。子供もそわそわし始めますし、人の流れがちょっと変わってきます。そういうときに大人の目で子供を見守っていきたいと思います。

以上で終わりたいと思います。

【議長（中逸町長）】 竹口課長、ほんとうにありがとうございました。

それでは、ただいまから委員の皆さんとの協議に入らせていただこうと思います。アドバイザーの皆さんのご意見や行政からの説明、これに関しまして委員の皆様からお聞きしたいと思います。まず、坂本委員から、よかったですらお願いしたいと思います。

【坂本委員】 教育委員の坂本です。

17年前に池田小学校事件があって以来、防犯に関する子供の見守り活動というのが社会全体で取り組まれるようになってきた。そのときに、学校は校門を閉めて、そういう見知らぬ人が入ってこないようにいろいろな取り組みをしました。しかし、その逆の取り組みもやったわけです。学校を開いて地域に学校のことを知ってもらおうと、いろいろな学校独自の取り組みをやりながら、しかし、最終的に気づいたことは、そういう環境にしてしまわない町にしよう。犯罪が起らない、また犯罪を起こさない、そういう町、そういう環境が一番効果的だろうということで、学校の取り組みがあり、行政の取り組みがあり、地域の取り組みがあってきたような気がします。

今先ほど出たように、ハード面やソフト面でたくさんの取り組みがされています。ですから、学校でできることはこの役割だ、地域でできることはこの役割だ、行政でできることはこの役割だというのがそれぞれ出てきたと思いますので、それらが折り重なって、

きちんと体系化されていけば。町全体としての取り組みにつながってくるんじゃないかなと思います。そういうことをソフト面とハード面から見直していけば、町全体の安全安心まちづくりは強くなっていくんじゃないかなと思います。

その中で、学校で今までやってきた中で、危機管理マニュアル、実際起こったときにどうするかということで、先ほど連絡のことが出ておりましたけれども、ああいうのを関係しながら、小さいことでも起こったときにどういう取り組みをするのかという体制づくりも非常に大事じゃないかなと思うところがあるし、感じたところです。

以上です。

【議長（中逸町長）】 徳田委員、お願いします。

【徳田委員】 今、アドバイザーの方のお話を聞いていて、皆さん一生懸命活動されているなどとても感動いたしました。最後の荒尾警察署の方の話で、ここは大変同意したんですが、地域全体で守っていこうという思いは大切と思うんですけども、なかなかそれが一般の家庭まで届いていない。傍観者は結構多いんじゃないかなと、その話を聞いて思いました。傍観者が一番怖いですよ。こういった取り組みを一般家庭まで届けるような連絡体系とか、そういう仕組みをもっときめ細かにつくっていけばいいんじゃないかなと思いました。

以上です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

では、田中委員。

【田中委員】 田中です。お世話になります。

一教育委員としてというより一保護者として、地域の方、老人会はじめ見守り隊の方ですとか、区長の皆さんにはお世話になっているなということを今日実感して、ほんとうに感謝申し上げます。

この事件があつて、誘拐ですとか、この前の連れ去りの事件などの後にも、娘とはよく話して、自分ならどうするみたいな話をするんですけども、大阪の地震のときのブロック塀とかも、自分の通学路にはそういう場所があるので走り去っていくぞとか、そういう話は家庭の中でよくしているんです。それは、学校の指導であつたり、ゆっぴーメールですとかP T Aの安心安全メールで各家庭には知らせてあるから、できることだなというのは実感しているんですけども、先ほどの地域見守り隊の方で知らない方がいらつしたというところも、もっと学校とかP T Aの広報紙とかで、こういう活動をされているよ

とか、そういうのをもっともっと家庭のほうに知らせていけば、近くの家の人が見守り隊の方にお話ししたりといったこともできたんじゃないかなと、今反省しておりますけれども、あとは、今のこのすばらしい活動が継続できるよう強く協力しなければと思っております。

以上です。

【議長（中逸町長）】 教育長。

【戸越教育長】 さまざまな関係者の方が子供たちをしんから思いを持って見守っていただいているんだなと、動いていただいているんだなということに、今日改めて、この場に出てありがたいと思いますし、教育委員会としてももっともっと頑張らないかと、そういう元気をいただいたところでございました。

私は、学校は学校での役割、もっと教育という部分で、自分の身は自分で守るとか、自他の命を大切にする教育だとか、それからもう一つ、これだけお世話になって見守られているという話をいろいろな機会を通して感謝の心というのを育ててほしいなど。

通学路で、例えば小学校では集団下校で行っておりますけれども、見守り隊の人の前を通っていて、挨拶をする子供が何人いるのか、校長先生たちはつかんでおられますかということ。高齢化社会になって、おじいちゃん、おばあちゃんたちが出ておられるんですよね。そこに気持ちのいい、「おはよう、おっちゃん」とか「おばちゃん、今帰りよるばい」とか、そんな会話が出てくると、そこに立っていた見守り隊の人はどれだけ元気が出るでしょう。そういうことがこの活動をさらに盛り上げていくことになりはしないかなと。

ですから、学校は限られた中で、学校の敷地内にいるとき、学校内で教育活動があっているときには、そこの中で子供たちの安全確保ですとか、一旦下校して校門を出たら、地域が責任ですよ。親が責任ですよ。だから、ここでの話は、僕は保護者に聞かせたい。保護者の中にも他人任せのところ随分いらっしゃるんじゃないかと思います。その辺のところは社会情勢が変わってきて、お母さんも働くような、働かなくてはならないような状況にある。そこは十分承知した上で、その中でもう一回、自分の子供は自分が責任を持って育てているということからのスタートではないかなと。

そうすると、ああ、学校にもお世話になっている、地域の方々にも見守っていただいているという空気が流れる中で子供が見守られると、健全な未来を託せるような子供が育っていくんじゃないかなと思います。

地域の方々、これからも大変お世話になりますけれども、どうぞよろしくお願ひしたい

など。元気をいただきました。ありがとうございました。

【議長（中逸町長）】 それでは、各メンバーの方々、それぞれ意見が出ました。今から全体会を通して、また皆さんからいろいろなご意見をお聞かせいただきたいと思います。

まず、先ほど村島さんのほうから言われたマグネットの件。教育委員会、どうでしょうか。すぐつくってやることはできませんか。

【松林学校教育課長】 教育委員会には予算がありませんので、総務のほうと話をして、課長とこの後相談をしたいと思います。

【議長（中逸町長）】 村島さん、大きさはどのくらいの大きさですか。

【村島長洲町PTA連合会会長】 A3ぐらい。

【議長（中逸町長）】 もっと小さいよね。A4の4分の1ぐらいでしょう。

【村島長洲町PTA連合会会長】 いや。

【議長（中逸町長）】 大きいんですか。

【村島長洲町PTA連合会会長】 今とりあえず、長洲小学校のほうは予算が取れるかどうかを待っていたら遅いから、つくりますということになっているんですけども、六栄のほうはA3の半分のサイズで手づくりして、一応A3の……。

【議長（中逸町長）】 それを車に張るんですか。

【村島長洲町PTA連合会会長】 はい。両方に。日ごろ学校でやっているときは、これぐらい。だけど、たくさんつくるとなると、でかいのをたくさんというのは難しいので、これぐらいですね。

【議長（中逸町長）】 A4だったら、ラミネートですと簡単にできます。僕たちが今、羽衣琉金の絵を車に張っているんですよ。それとか、ふれきんちゃんの絵。あれだったら、予算なんか考えなくても、やろうと思えばみずからつくれます。簡単にできます。100均に行ってマグネットを買ってラミネートでやれば、すぐできます。そういうのを工夫していただければありがたいなと思います。予算なんか関係ないと思います。100円出せばすぐできます。そういう工夫もお願いしたいと思います。予算はほとんどかからないと思う。100円あれば100均に行って買ってラミネーターすれば、このくらいの磁石はすぐできます。検討してください。校長先生も検討してください。みずから工夫をしましょう。

【徳田委員】 六栄小はそれが進んでいるんであって、ほかの学校に会長会で進めていただければと。

【議長（中逸町長）】 いや、それは個人ですればいい。

【徳田委員】 ああ、そうですね。六栄小はそういう方向で進んでいるんでしょう。

【村島長洲町PTA連合会会長】 とりあえずですね。

【議長（中逸町長）】 このくらいだったらすぐできる。つくってあげましょうか。

【坂本委員】 こまかといかんとばい。

【徳田委員】 目立ったほうがほんとうはいいんですけれども。

【坂本委員】 車が通っていくのに、ぼっと見られるようなのだから、僕らが以前、池田小学校の後につくったのは、A3を二回りばかり大きくしたのを両サイドにぺたっと張る。

【村島長洲町PTA連合会会長】 六栄が通学路のパトロールだったりとかで毎日つかっているのは、そのサイズだと思います。だけど、それをたくさん保護者とか役員の車で、個人で持っておくとなると、それを全部つくるのは予算的にあれなので。

【議長（中逸町長）】 ラミネーターはA3までできるよね。

【村島長洲町PTA連合会会長】 そうですね。それはとりあえず……。

【議長（中逸町長）】 磁石がなかつよね。

【村島長洲町PTA連合会会長】 それは買いますけれども。

【議長（中逸町長）】 じゃあ、教育委員会、総務課、学校教育課で考えて。予算ぐらいすぐできるけん。

【坂本委員】 ありがとうございます。

【議長（中逸町長）】 工夫して。

それと、今日一番問題になっているのが情報の伝達だと思います。これについて、皆様のご意見を。先ほど福田団長からLINE。LINEは非常に便利、グループをつくるとわりと便利なんですけれども、これも時間があって、夜中にかかってくる場合もありますし、愛情ネットで今流しています。ただ、今言われたように、携帯の種類によっては愛情ネットが入る、入らないもあるし、登録していらっしゃらない方には連絡が行きません。そういう意味で、総務課、ファクスとかはどうでしょうか。この前、いらっしゃらなくなったときファクスとか流しましたか。

【事務局（濱村総務課長）】 各区にご協力願ったりするときはファクス等で、放送の内容も含めたところをお願いしているところでございます。

【議長（中逸町長）】 では、まず、いなくなられた場合のケースを教えてください。情

報をどうする場合、どういふふうに連絡があつて、流していくかということ。情報の伝達の仕方。まず、いなくなったという連絡がどこから来て、どういふふうに協議して、それを愛情ネットもしくは防災無線で流していくかという流れを、宮本課長でもいいです。この前の例を見ていただければ。

【事務局（宮本福祉保健介護課長）】 先日ありました事例の内容を言いますと、まず、家族の方から、うちのおばあちゃんがいなくなったのでと、包括もしくは福祉保健介護課に連絡がありました。

町としましては、状況を確認して、まずは、その方が認知症を持っているかどうかですね。あと一つ、一番大事なのは、それを警察に通報されたのかどうかと、個人情報について町からの発信が可能かどうか。個人情報の名前は出してほしくないとか、さまざまなケースを言われますので、まずは個人情報をどこまで出せるかというところを確認しながら、あとは関係機関にその情報を、今こういう状況というところを、庁舎内での横の連携を流しながら、しかるべきタイミング、要は愛情ネット、それとあと防災無線の周知の状況が整いましたら、その時点で発信もしくは防災無線での発信という形になったと思います。

その後につきましては、各庁舎のほうで捜索に回ったりとか、情報収集する部署につきましては、必要な情報を逐一総務のほうに上げていくという対応を今回はとっております。

発見の情報もその逆で、町のほうに情報があつて、これをうちが依頼した関係機関に周知連絡、愛情ネットを通じて行うという形をとっているところです。

【議長（中逸町長）】 今の件で、名前も出さない、身長もわからない、性別、どれだけ情報公開していいかというのが一つのポイントになります。写真まで添付していいよということだったら、わりと早いのかもかもしれません。写真までというのは、ご遠慮されておられます。

要介護か要支援なのかという状況でも、我々は見方が違います。これは老人の場合でございます。要介護だったら、歩いて動ける範囲というのは、せめて300メートルぐらいじゃないかなと。要支援とか認知症の方が徘徊された場合はわかりません。ただ、そのときに、今、長洲町には防犯カメラがついております。何時何分ごろ、どこの方面に行かれたというのがある程度わかれば、その辺の防犯カメラをまず見させていただいて、わかれば、その方の写真とかが写っておれば、わりと早いのかなという感じもいたします。

それで、防犯カメラの増設をやっていきたいと思いますので、校長にはお聞きしているかと思います。それで、まだまだ長洲以外の通学路にもこれはもう少し増設しないといけ

ないのかなと思っております。そういう意味で、意外と防犯カメラに写っていらっしやいます。かなり違います。ただ、それはリアルタイムではありませんので、これがリアルタイムだったら、すごいなと思います。だから、そういうのも今後は予算化していく。リアルタイムで見られる。しかし、これはプライバシーの問題もあります。なかなか難しい問題であります。

そういう面で一応防犯カメラを覗いて、どちらの方面に行かれたというのはある程度わかる。もっともつきめ細かく防犯カメラを設置できれば、かなりの効果が出てくるんじゃないかなと思っております。そういう意味で、今の長洲町の取り組み状況、防犯カメラをもう少し増やしていく。さらに、見守りをどのように強化していくか。これを今日は皆さんから、どういう情報があったらもっとも増えるよね、情報の伝達も早いよねと。LINEも一つだと思います。愛情ネット。しかし、こういうものを持っておられない方は区長さんにファクスを流していく。こういうのをケースによって、もっとマニュアルをつくって充実していくのが必要じゃないかなと思いますけれども、いかがでしょうか、皆さん。

【戸越教育長】 城戸さんにお尋ねしますけれども、連絡網とかはつくれますか。例えば10名いらっしやる。1カ所から10名にどんどん送りよったら大変ですよ。そこだけの連絡じゃないので。ですから、お二人の方に連絡をすれば、そこからそのほかの方に伝わっていくと。電話で、口頭でだとか、そういうものがつくれるから、また方策が出てくるかなと思うんですけれども。

【議長（中逸町長）】 どうぞ。

【玉ノ木長洲町駐在員会会長】 長洲小学校の場合は連絡網があるんですよ。この人に連絡すれば次の人にとって、書いてあるんですよ。1回もやったことはありませんけれども。

【戸越教育長】 それは学校の。

【城戸地域見守り隊隊員】 学校から。

【戸越教育長】 P T Aの連絡網じゃないんですか。

【玉ノ木長洲町駐在員会会長】 見守り隊活動のほうの連絡網です。学校でと書いてあるでしょう、あの連絡網は。

【松永腹栄中学校長】 そうですね。僕が行ったときには、もうできとったですね。ただ、今、玉ノ木さんおっしゃったように、使ったことはなかったです。

【玉ノ木長洲町駐在員会会長】 私もないです。

【松永腹栄中学校長】 ただ、いつかの雪の日に、遅延登校させたときにしたけれども、なかなか通じないというのはありましたけれども。

【城戸地域見守り隊隊員】 見守り隊メンバーに 。

【松永腹栄中学校長】 見守り隊だけです。46人ぐらいいらっしゃるんで、なかなか……。

【玉ノ木長洲町駐在員会会長】 長洲小学校の場合の見守り隊の隊員の方には連絡網があります。1回も使ったことはありませんけれども。

【議長（中逸町長）】 そこは、総務課のほうが、やっぱり管理して、そういう見守り、今日のこういう中で組織ができるかどうかですよ。一つの検討課題であって、長洲はできている。

【城戸地域見守り隊隊員】 前、教育長がおっしゃったのは、区長同士の連絡網のことでしょう。

【議長（中逸町長）】 そうそう。そうよ。

【戸越教育長】 先ほど校区の見守り隊の方。

【戸越教育長】 校区の見守り隊の方に連絡するときに、例えば10数人いらっしゃったら、10数名にあるところから。ファクスとか電話では時間がたって仕方ないし、また別件のところにもそういうのが出てくる。

【城戸地域見守り隊隊員】 見守り隊のメンバーというのは、区によって人数ばらばらですもんね。私のところは十六、七人おるけれども、ほかの区では8人だったり3人だったり、ばらばらです。だから、それぞれの区長に対する連絡がきちんと伝われば……。

【戸越教育長】 ああ、区長さんがそうか。

【城戸地域見守り隊隊員】 だから、そんなにたくさんないですよ。私がやめた六栄だったら、見守り隊というのは、たしか六つの区です。

【戸越教育長】 だから、6人の方に伝えれば、ずっとこう下に。

【城戸地域見守り隊隊員】 はい。6人に伝えれば、後はその区の中でそれぞれが工夫してやるです。人数少ないところはすぐ伝わります。

【戸越教育長】 そういうのがあればですね。つくれたら、そういうのをつくっておられるとできるかなと。

【城戸地域見守り隊隊員】 私のところの中ではそれはできんけど、鷺巣では、ほかの区のこと、そこまではわかりません。

【議長（中逸町長）】 だから、そこは子供だけじゃなくしてお年寄りが何かあった場合もありますから、うちの総務課がその辺を少し検討させていただいて、見守り隊への情報伝達マニュアルみたいなのを検討させていただければありがたいと思います。

長洲はできているということですがけれども、あまり活用されていないということですので、そういうスペースなんかも、今日のこの会議で何かそういうのをつくっていかうのであれば、総務課あたりがやっぱり検討する。

【高松長洲町老人会連合会会長】 だから、今、見守り隊の連絡網は、例えば授業の時間が変更になって早く帰るとか、そういうときの見守りに連絡をしてほしいと。それが6人、頭がいるんですよ。それからずっと裾野が広がっていますから。今はそういう形で、学校の授業に対しての子供たちの下校が変わったときに連絡網を使わせてもらっていいですか。

【議長（中逸町長）】 じゃあ、やっぱり学校がいいわけですね、高齢者よりも。

【高松長洲町老人会連合会会長】 そうですね。

【戸越教育長】 見守り隊のことに対しては、何か一つ、先ほど出とったように、お年寄りの方の徘徊、行方不明になった、捜索をしていく、あるいは不審者が出てきたとか、いろいろな案件で、例えばこれは第1、第2、第3とか、事の大きさとかによって、第1のときにはどこと連絡をまず取りあう。そのように幾つかの段階に分けて、そしてそのときにどういう対応をするのか、連絡をどうするのかというマニュアルを役場の中に一つ設ける必要があると。これは学校中心です。そういうマニュアル化が必要かなと思います。全て送らんでもいいでしょう。

【議長（中逸町長）】 だから、そこはやっぱり危機管理を担当している総務課が主体となって、教育委員会と打ち合わせして、この案件は学校からの見守りで、そういうマニュアルの作成をさせていただこうと思います。どうですか、総務課長。

【事務局（濱村総務課長）】 今も、先ほど見守り隊の連絡で、区長さんが大体トップに立たれているということですので、現在総務課のほうから連絡という形は基本的に区長さんのほうにお願いしておりますので、そこで見守り隊のほうにも伝わるのかなとは思っております。

この連絡ができる、できないというのが、先ほどありました個人情報でどこまで出しているかというのが判明した時点、保護者の方々が出してくださいというの確認がとれた時点とか、そういうのがいろいろあっております。そういうものにつきましても教育委員

会等と協議しながら、また、保護者の方等との話を進めながら、できるだけ早い段階でできるよに進めていきたいと考えております。

また、どのような段階でというのも、どういう形でできますかという検討のほうは、教育委員会と一緒に進めさせていただきたいと思います。

【議長（中逸町長）】 そのほか。今日は何でも結構ですから。

【高松長洲町老人会連合会会長】 余談で言ってよかですか。

【議長（中逸町長）】 はい。

【高松長洲町老人会連合会会長】 先ほど城戸区長さんからありましたとおり、私も老人会の会長として、老人会の理事役員会には報告しました。この前の件も。民生委員の中でも報告をしました。

その中で、一部の方しかそのことが確認できていないと、ほんとうに残念なことで、今度また7月6日にやりますので、改めてもう一回、こういうことは横のつながりとして、単位老人会の会長ですので、自分のところの見守り隊にはこういう事案が発生したということは必ず伝えるように言っていきたいと思えますけれども、一部の民生委員の方から言われたのが、こういう事案が発生したときに長洲町の放送はできないのか、一回お尋ねしてくれんかと。

それと、先ほど荒尾署の竹口課長さんからあったとおり、今、私たちの婦人会の方々も子供が一人で帰りよったら、やっぱり声かけをすると。この前、戸越教育長にも話したんですけれども、女の子が一人で帰っていた。「一人で帰りよっと。大丈夫ね」と声かけしたら、走っていきよって、倒れたと。倒れたから起こしにいこうかと思ったら、急いで家に駆け込んで、今度、奥さんが学校に連絡して、そして、それから学校がどうやったのかわからないんですけれども、教育委員会に連絡があったと。

これらは私たちにも問題があるんじゃないかなろうかと。だから、学校とつながりを持って、花いっぱい運動とかサツマイモ植えとか植木剪定とかで、地域の老人会がもっと子供たちとつながりを持ったらこういうこともなくなるんじゃないかなろうかということで、先般、教育委員会の方々とも、学校のこと、とにかく老人会でできることはつながりを持っていきましょうということで、先般お話し合いをしたところで、今後は先ほど荒尾署の課長さんが言われたように、やっぱりつながりが大事なのかなど。私たちの時代を言ったらいけないかと思うんですけれども、今、家庭のお母さんたちが地域の方々ばあまり知らないから、こういうつながりになっているのかなど。お父さん、お母さん、また地域の方、子

供たちとつながりができるような活動を今後強化していきたいなという思いを持っています。

以上です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

【事務局（濱村総務課長）】 総務課からです。

前半のほうで、町の放送ができないかというご質問の件につきまして、発生した事案というのが全てケースが異なる状況になっております。早く情報を出せば、その分早く解決するという可能性が十分あるのはわかっております。事が発生した場合について、どのタイミングで出すことができるかというのは、先ほどのお答えと同じなんですけれども、個人情報でご家族の意向等も踏まえたところで今現在判断しているというところでご理解いただきたいと思います。

【高松長洲町老人会連合会会長】 はい、わかりました。

【高松長洲町老人会連合会会長】 愛情ネットは普通のガラケーも大丈夫なんですか。

【田成まちづくり課長】 メール受信できれば。

【議長（中逸町長）】 区長さん方にお願ひ、あるいは全町民にお願ひがあるのが、愛情ネットというのを登録していただければ、これに情報を結構流してきていますので、もっと我々がPRして、愛情ネットの管理を皆さんと一緒に増やすことが見守りの一つになるんじゃないかなという気がいたします。

学校の人がもしLINEを持っておられるんだったら、見守り隊の地域のグループLINEを校長先生に主催してもらって情報を流していく。今日は大雨だから学校の開始時間が10時ごろからになりますとか、そういうのもLINEであれば、わりとお金もかかりませんので、できるんじゃないかなと。愛情ネットもそうです。こういう登録を町民に勧めていくのが情報の共有化につながるんじゃないかなと。もっともっと行政も、福祉のほうも進めていかななくてはいけないし、総務課のほうも情報の伝達のあり方を今日この会議の中で課題が出ましたので、もっともっと伝達がスムーズにいくように進めて、そのためにはどういう手段をとっていくのか、経費的なものを考えて、愛情ネットとかLINEとか、こういうのが今使いやすい一番かなという気がいたします。

LINEだったら、ビデオもカメラも使えますから、校長先生と区長さんがテレビで話せること、無料ですから、そういうのもぜひ僕は進めていただきたいと思います。

【城戸地域見守り隊隊員】 だけど、その辺は大分段差が。

【議長（中逸町長）】 あります。

【城戸地域見守り隊隊員】 ほかの組の人たちは、なかなかそこまでは。

【議長（中逸町長）】 ただ、そこを我々60代からやっていかないと、70、80になっていくから、60代で覚えれば70、80は簡単で、今からはそういう。

【城戸地域見守り隊隊員】 見守り隊をやっている人は、60代は若い子たちね。もうちょっと高いです。ですから、ちょっと限界があるけれども、努力せないかんとは思いません。私はやっていますよ。愛情メールもやっていますよ。

【議長（中逸町長）】 校長先生、そういうのも今日の課題の一つでありますので、検討をお願いできればと思います。

そのほか何か皆さん、ご意見等ございませんか。

【田中委員】 さっきの城戸さんから校長先生に何か質問が一つあったような、中学生がしゃべっているって。

【議長（中逸町長）】 そうですね。先生、どうでしょうか。今の城戸区長の。

【松永腹栄中学校校長】 全てを把握しませんけれども、確かに地域からそういう情報で把握はしています。帰りにどこからたむろって、会話をしながら一休憩しているとか。

ですから、学校ではもちろん指導していますし、部活動単位でもそういう指導は日常やっています。ただ、一旦出て、だれがどこでというのは、私は目撃していませんけれども、そこはまた引き続き地域で注意していただくと、学校でもしていきますので。さっきあったように、連携して子供を育てていけたらなと思っております。よろしく願います。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。いいでしょうか、その返答で。

そのほか何かございませんか。竹口課長、何かありますか。いいですか。よろしいでしょうか。

それでは、事務局のほうにお返しいたします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 それでは、次第4にありますその他について。事務局より連絡をお願いいたします。

【事務局（五十嵐総務課総務係担当）】 事務局からでございます。

連絡事項でございますが、次回、30年度の第2回目の総合教育会議の日程と協議事項についてのご連絡でございます、

日程につきましては、第2四半期に当たります7月から9月の予定をしております、協議調整事項については、この後、検討させていただきたいと思っております。

また、教育委員会のほうからも協議内容、ご提案等がございましたら、ぜひおっしゃっていただければと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

事務局からは以上でございます。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 それでは、本日の会議は以上で終了となります。

これで、平成30年度第1回長洲町総合教育会議を閉会いたします。皆様、どうもご協力ありがとうございました。

以上、会議録の顛末を記録し、相違ないことを証するため、長洲町総合教育会議運営規約第6条第3項の規定に基づき、ここに署名する。

町 長

教育長